

平成23年度大分県生涯学習情報提供システム事業評価報告

大分県立社会教育総合センター

1 目的

本報告書は大分県生涯学習情報提供システム管理運営要綱第2条の目的を達成するため、標記システムの事業評価を行う。

2 新大分県総合教育計画の目標値と今年度の実績値及び評価

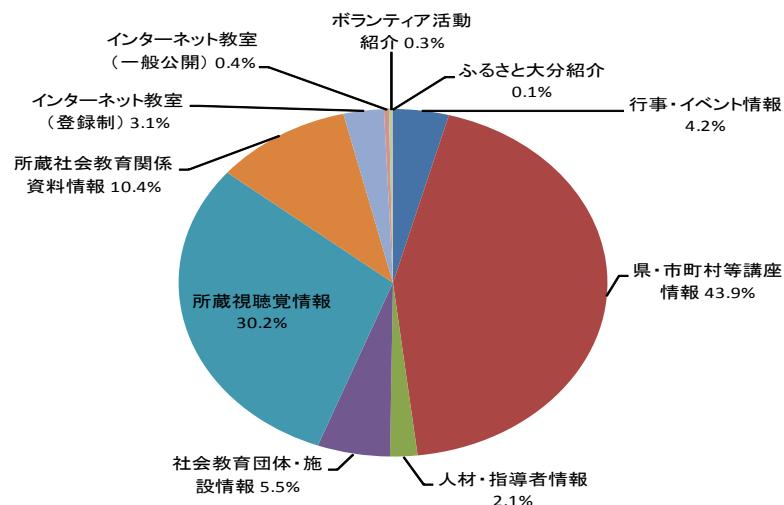
(1) データ登録数（注1）

目標値	23年度実績値	23年度目標達成率	22年度実績値
11,900件	5,571件	46.8%	17,809件
評価			
<p>23年度はシステムの改修に伴い、22年度までの過去のデータ（1万7千件）を精選・見直し（古いデータは破棄）、最新情報にデータ（5千件）を更新したため、大幅にデータの登録件数が減少した。</p> <p>今後も引き続き、知事部局・市町村・大学・NPO等に情報提供の協力を依頼し、生涯学習・社会教育情報に関するデータ収集に努め、目標値の達成を行う。</p>			

（注1）データの内訳

- ①県・市町村・大学等イベント・講座情報（2,683件）
- ②人材・指導者情報（115件）
- ③社会教育関係団体・施設情報（306件）
- ④インターネット教室など動画配信（208件）
- ⑤当センター所管視聴覚教材情報（1,682件）
- ⑥当センター所蔵文献情報（577件）

（表1）データ登録数内訳



(2) アクセス件数（注2）

目標値	23年度実績値	23年度目標達成率	22年度実績値				
246,000件	264,793件	107.6%	197,404件				
評価							
<p>アクセス件数は、10月にシステムを改修した結果、昨年度比32.9%増で、5年ぶりに目標値を達成した。最も利用されているコンテンツが講座情報等のデータベース機能であるため、今後は、更なる機能の充実・利便性が求められる。</p> <p>今年度10月までのアクセス件数は、昨年度とほぼ同数で推移したが、11月以降は、以下のとおり大幅増（前年比68.3%増）となった。</p> <table> <tr> <td>23年度11月～3月までのアクセス数</td> <td>102,503件</td> </tr> <tr> <td>22年度11月～3月までのアクセス数</td> <td>60,898件</td> </tr> </table> <p>来年以降も目標値を達成するために、様々な機会での広報活動、テレビやラジオなどメディアを活用した広報、公共施設やコンビニエンスストアなどでの広報チラシの配布など、あらゆる手段を講じていく。</p>				23年度11月～3月までのアクセス数	102,503件	22年度11月～3月までのアクセス数	60,898件
23年度11月～3月までのアクセス数	102,503件						
22年度11月～3月までのアクセス数	60,898件						

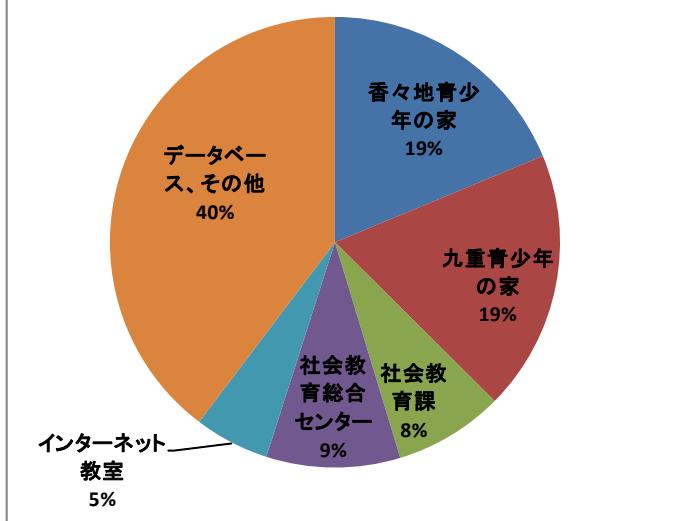
(注2) (表2) 大分県生涯学習情報提供システムへのアクセス件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
20,908	21,975	24,470	24,764	21,224	17,244	14,997

11月	12月	1月	2月	3月	総計
13,144	11,625	22,127	30,817	41,498	264,793

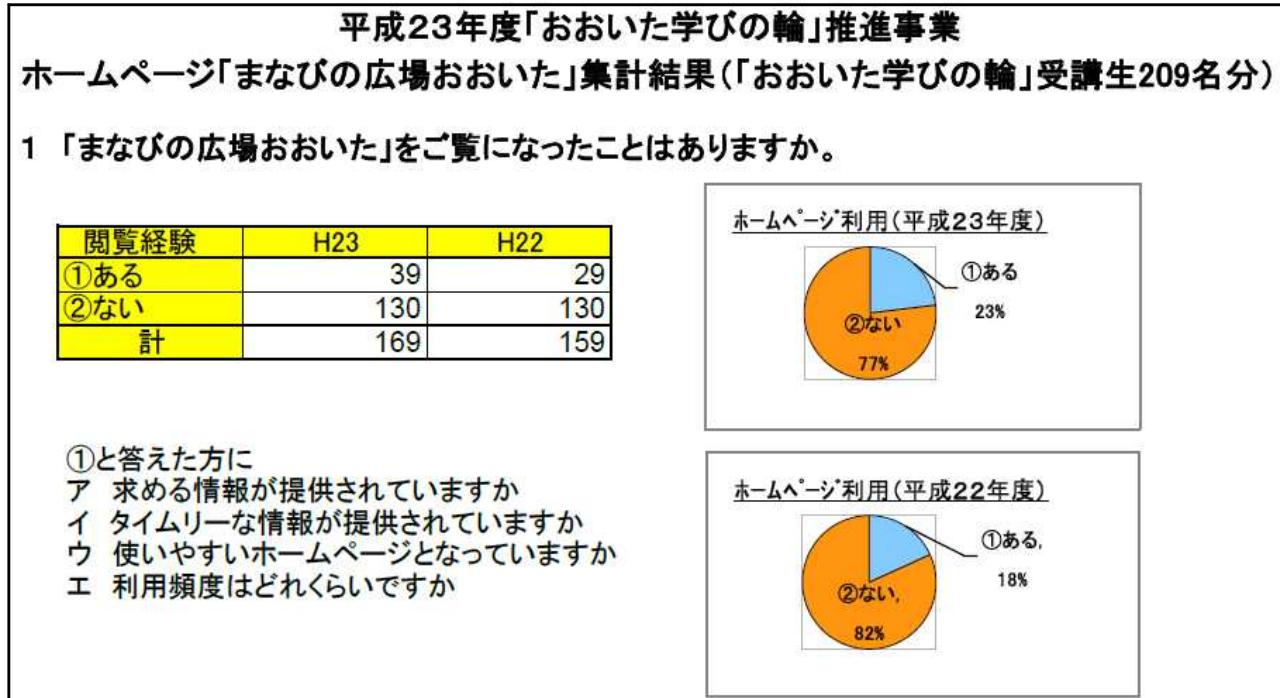
(表3)「まなびの広場おおいた」各コンテンツアクセス数	
香々地青少年の家	49,144
九重青少年の家	49,180
社会教育課	20,654
社会教育総合センター	25,210
インターネット教室	14,084
データベース、その他	106,521
合計	264,793

(表4)「まなびの広場おおいた」アクセス数内訳



3 施設利用者アンケートによる評価

施設利用者 169 名に、以下の項目についてアンケートを実施（H24.1）した。



	H23		H22	
	(a) はい	(b) いいえ	(a) はい	(b) いいえ
ア	30	2	19	2
イ	26	3	17	1
ウ	27	5	17	0

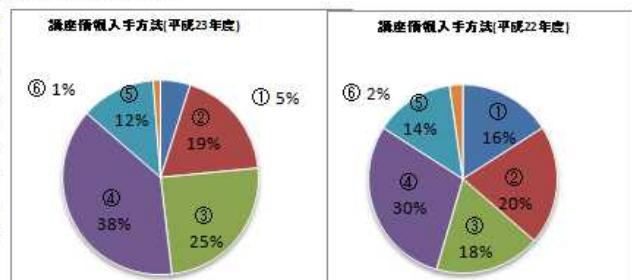


	(a)毎日	(b)2~3日に一回	(c)1週間に1回	(d)月に1回	(e)その他
H23	2	0	4	7	11
H24	0	1	11	12	10

2 「まなびの広場おおいた」で利用した(またはしたい)情報は何ですか。

入手したい情報	H23	H22
①当センターの施設紹介	4	7
②当センターの事業紹介	15	9
③インターネット教室	20	8
④県内の生涯学習講座	31	13
⑤県内の講師情報	10	6
⑥特になし	1	1
計	81	44

* 複数回答あり



【アンケート項目についての主な評価】

○システム（まなびの広場おおいた）の利用率

システム利用者は、アンケートの結果、2割程度（昨年度より5%増）で、依然として利用率が低い。利用率を高め、アクセス件数の増加を図るために、センター主催の研修会や講座等で、実際にシステムを紹介する時間を確保するなど、利便性を訴えていく必要がある。また、様々な団体へ広報チラシの配布などシステム利用促進を図り、広報活動をあらゆる場で行っていく。

○システム（まなびの広場おおいた）の情報提供

今年度、システムに新たに「県・市町村講座情報」、「人材・指導者情報」、「センター所蔵視聴覚教材情報」など多くのデータベース機能を追加したため、利便性は大幅に向上している。しかし、以前から旧システムに慣れている利用者は、新システムの操作画面に慣れていないなど評価が低下している。

今後は、利用者にとって操作が簡単で、使いやすいシステムの実現を目指すために、ヘルプなど説明機能等の充実も図っていく必要がある。

○システム（まなびの広場おおいた）で利用したい情報

利用者が入手したい情報として、社会教育関係団体の活動紹介、インターネット教室における「おおいたの歴史」「災害対策」の講座配信であった。これらの情報は、システム改修により情報を提供しているが、利用者にはあまり知られていない。今後、館内利用者にシステムを実際に体験してもらうことも必要である。

4 総合評価

各評価項目に対する達成度は、昨年度に比較すると大きな変化がないが、アクセス件数が約6万5千件（昨年度比32.9%増）と大幅に増加し、18年度以来、5年ぶりに目標値に達した。

インターネット教室は、昨年度まで登録制としていたが、今年度から登録制を廃止し、一般開放としたため、アクセス件数が約4倍（22年度アクセス件数3,169件、23年度アクセス件数14,806件）にも伸びたのは、大きな成果である。

これらの要因は、利用者にとって使いやすいシステムづくりを目指して、システム改修を行った結果である。ただし、登録データ件数が大幅

に減少したため、今後は、県・市町村などの各機関へ情報収集を積極的に行い、データ件数の一層の増加を図る必要がある。

特に、システム利用が多い講座情報、インターネット教室関連データは、より多くの情報を提供していかなければならない。

また、大分県長期総合計画において、平成27年度のアクセ件数の目標値が44万件に設定されており、この数値が今年度実績値の1.8倍にも及ぶため、当センター単独での広報だけでは限界がある。当センター以外の県教育庁社会教育課、香々地青少年の家、九重青少年の家とも連携して、県下全域に広報を行っていく必要がある。